

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年9月1日

評価対象年度：平成19年度				管理	1-1-8-1
事務事業名 奨学基金関係事業				部等名	教育部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	幼保学校課
	一般	01-100102002	細々目名	係等名	学校教育係
政策体系	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり		
	施策	1	小中学校教育体制の充実と施設の整備充実		
	基本事業名	8	就学奨励援助		

事業概要 実施内容	経済的理由などにより就学が困難と認められた児童生徒対し、奨学資金を貸与する。 募集 申請 審査 貸与				
根拠法令等	遠藤輝雄奨学基金条例 遠藤輝雄奨学基金貸与規則 遠藤輝雄奨学基金運営委員会規程	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	円	28 繰出金	28,612 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	28,612 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		高校・専門学校・短大・大学就学予定者	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		奨学資金の貸与：高校、専門学校、短大、大学 若干名	
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)		就学希望者の学費等の支援を図ることにより、経済的に進学が困難な家庭の支援し、教育の機会均等が図られ、有為な人材が育成される。	
		活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標	
		指標 (1) 名称 奨学資金を受けている生徒数	
		指標 (2) 名称 申込者数	
		成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標	
		指標 (1) 名称 採用者数	
		指標 (2) 名称 卒業生数	
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか			
奨学金の給付に伴い、保護者負担の軽減を図る。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)	
指標	活動指標 (1)	人			13	13		
	活動指標 (2)	人			0	0		
	成果指標 (1)	人			0	0		
	成果指標 (2)	人			0	1		
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円			29		
	事業費計 (A)	千円			29	0		
	人件費	職員数	人			0.1	0.1	
		人件費平均額 (年)	千円			8,373	8,373	
人件費計 (B)		千円			837	837		
総事業費 (A+B)	千円			866	837			

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？	
最近の国内における経済不況や、母子家庭等の増加に伴い授業料等の負担が大きく、経済的支援を必要とする世帯が多くなっている。	
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？	

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
経済的理由により就学が困難な者を資金面で援助することにより、教育の機会均等が図られ、本政策実現の一助となっている。	民間の貸与制度もあることから、貸与制度の見直しの余地あり。	高等教育等の充実を目的としたときに、高等学校・高等専門学校又は短大・大学生を対象とすることは妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
公立と私立あるいは自宅通学と自宅外通学の差を設けることで、実質的な成果向上の余地あり。	経済的理由により就学困難な生徒が、均等な教育を受けることができない。	民間の貸与制度もあるため廃止も可能である。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
成果を下げずに事業費を削減することはできない。		申請者の所得状況等、個人情報を取り扱うため細心の注意が必要であり、また、事務も煩雑であるにも拘らず、必要最小限の人数で行っており削減の余地はない。
公立と私立あるいは自宅通学と自宅外通学等の基準を設けることで公平・構成が図れる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	貸与制度については、民間の制度もあることから目的妥当性、有効性、効率性、公平性の観点から見直しが必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
貸与制度の廃止																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						